

調査・研修報告書（議員用）

報告者：木山 義仁

実施場所：リファレンス駅東ビル（福岡市博多区）	実施日：令和8年2月7日（土）
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） ○議員として活動するために必ず理解すべき、地方自治法等関係法令の基礎知識及び議会制度の本質の理解と習得。	
■参考とすべき事項 【議員の基礎力をつくる】 ○地方自治法の理解（とりわけ1条、89条、96条、98条、100条） ○二元代表制 ・「追及することが正義」という誤解が生じている →真実は、「緊張感のある協力関係」、「是々非々の理論」、「車の両輪」 ○会派 ・与党の役割：市政の安定装置（市長の政策を支え、予算や重要議案を可決へ導く） 実質的な政策決定に関与 少数意見にも耳を傾け、合意形成を図る ・野党の役割：議会での質問を通じて、問題点を公の場にさらす 世論を喚起 より良い選択肢を（対策）を示す ○議会運営 ・多様性の確保：なり手不足の解消 ・デジタル化 【議員活動を武器にする】 ○一般質問 ・質問の独自性（重要なのは、自分の地域、視点、強みを生かした独自の戦略） ・批判が目的となってはならない（批判と課題追及は非なるもの） ・市民ニーズと乖離した質問は好ましくない ・市民との対話から得られる「現場感覚」を質問の起点とする。 ・量より質（質の高い質問が大きな影響。市民は数より成果を重視） ○議員活動 ・信頼構築の長期戦略：議会報告書、ニュースレター、SNS活用	

■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

- 地方自治法等の理念を踏まえた議会運営
- 人口減少がすすみ将来的に定数削減が避けられないなか、議会改革が必要
 - ・女性・若者・民間経験者が参画しやすい環境（夜間議会、オンライン委員会等）の構築
- 質の高い一般質問の実施
 - ・単なる批判ではなく、具体的な事例や精緻な分析に基づき問題の本質を明確にしたうえで、実現可能な代替案を提示
 - ・市民の実生活に基づく質問を行う